

渡辺勝幸が取り組んだ活動について 令和6年 11月・12月

県民の皆様から頂いた要望、行政調査・説明等、渡辺勝幸が今期取り組んだ政策テーマ及びその活動の主なものについてご報告します。一つでも多くの県民の声が政策として実現できるようさらなる努力をしております。

- 仙台市高齢者福祉団体連絡会による県への要望活動に参加
- 沖野市民センター主催「食べて、見て、相撲の魅力、新発見」
- 宮城県主催「令和6年度(第54次)沖縄「宮城之塔」慰霊祭」に参列しました【沖縄平和祈念公園宮城之塔】
- 「東アジアの危機から日本を守ろう! 自衛隊明記の憲法改正を求める国民集会」に出席
- 宮城県議会環境・エネルギー・SDGs議員連盟による女川原子力発電所の視察に参加
- 郡市医師連盟支援担当者・郡市医師連盟担当県議会議員交流会に参加
- 防衛議連勉強会、第二管区海上保安本部より海上保安庁の活動についてご説明いただく
- みやネット主催「多様な学びを共につくるみやぎネットワーク」に参加
- 宮城県議会自民会派有志で、石川県輪島市において災害ボランティア活動 石川県能登町長、町議会議長、教育長への表敬訪問、意見交換
- 水土里ネット議員懇談会と土地改良区理事長との意見交換会に出席
- 全拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会に、宮城県議会拉致議連幹事長として参加
- 多賀城創建千三百年記念式典【多賀城跡】



石川県能登町長、町議会議長、教育長への表敬訪問、意見交換

沖野地区／沖野市民センター

令和6年度第31回沖野地区市民まつりにお招きいただき、開会式でご挨拶

六郷地区／六郷市民センター

令和6年度六郷市民まつりにお招きいただき、祝辞を述べました。

六郷地区／若林区井土地区

「第4回井土マルシェ」



南小泉地区

南小泉地区町内連合会研修会
若林区海浜エリア活性化企画室
能登幸基室長による
「海浜エリア活性化の取り組み」の
講演を聞きました。

自由民主党活動

- ▶ 自民党宮城県連第13期宮城未来塾第5回研修 小林鷹之元経済安全保障担当大臣による「2050年の日本を見据えたビジョン」の講演を聞きました
- ▶ 小野寺五典自由民主党政務調査会長を訪問し わが国をめぐる国際情勢をはじめとする政治動向についてお話を伺い意見交換
- ▶ 自民党宮城県連青年局と宮城県解体工事業協同組合青年部との意見交換会に出席
- ▶ 自民党宮城県連青年局と宮城県建設業青年会との意見交換会に出席
- ▶ 自民党宮城県連青年局と宮城県造園建設業協会青年部との意見交換会懇親会に出席
- ▶ 自民党宮城2区支部議員団会議に出席



交通指導隊六郷分隊隊員として、議会活動のない日を中心に、**沖野東小学校正門前**で立哨しています。地域の皆様には交通安全へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。

街頭活動 75回!

平成23年より街頭活動を継続しています。令和5年11月から数えて1月17日現在で、75回目の街頭活動となりました。若林区内で「つくる」ののぼりを見かけましたらお声がけください。

渡辺勝幸プロフィール

Katsuyuki Watanabe PROFILE

昭和50年生まれ仙台市若林区出身。49歳。沖野中、仙台一高(46回応援団長)、慶應義塾大法学部卒。慶應大大学院在学中より市川一朗参議院議員政策秘書(平成12年より22年)。平成26年仙台市立沖野東小PTA会長。平成27年宮城県議会議員(若林選挙区)初当選、現在3期目。平成30年自民党宮城県連青年局長。令和元年県議会環境福祉委員会委員長。仙台市立沖野中PTA会長。令和2年県議会再生可能エネルギー・脱炭素調査特別委員会委員長。令和3年自由民主党・県民会議政務調査会長、県議会経済商工観光委員長。令和5年自由民主党・県民会議 幹事長。現在、宮城県議会総務企画委員長、議会運営委員会委員、県民所得向上対策調査特別委員会委員。自民党・県民会議交通運輸議連会長、防衛議員連盟会長代理、医療福祉議連幹事長等。仙台市若林地区交通安全協会六郷支部顧問。宮城県私立幼稚園PTA連合会副会長。宮城県障害者スポーツ協会常任理事等。

個人献金のお願い

地盤も看板もない渡辺勝幸の政治活動を支えるためには、皆様の力強いお支えが引き続き必要です。A4一枚の活動報告を5000世帯に郵送するだけでも、**110円×5000世帯=55万円**の費用がかかります。切手1枚でも大変助かります。なお、献金いただけます場合は、事務所までご一報くださいますようお願い申し上げます。ボランティア・ポスティング活動へのご支援も合わせてお願いいたします!

県政レポートにつき毎号多くの方からお手紙やメールをいただきましてありがとうございます。県政活動の参考にさせていただいております。

※公職選挙法178条により、政治家が選挙区内の人に時々の挨拶状を出すことは禁止されております。皆様には何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

県政についての声をお聞かせください

宮城県議会議員 渡辺勝幸事務所

〒984-0816 仙台市若林区河原町1丁目7-29-101

TEL 022-398-6266

FAX 022-398-6269

✉ watanabekatsuyuki@yahoo.co.jp

宮城県議会議員

渡辺 勝幸

県政レポート第37号

宮城県議会議員渡辺勝幸

発行/宮城県議会議員渡辺勝幸事務所

発行日/令和7年2月2日

令和7年

2月

宮城県議会 第394回(令和6年11月)定例会を終えました!

11月21日、宮城県議会第394回(令和6年11月)定例会が開会されました。この議会においては、

宿泊税の課税を円滑に始めるため、観光客に周知する費用を盛り込んだ補正予算、

また物価高騰対策としては、**学校給食の食材高騰対策にあてる費用**として5,000万円余り、

LPガス利用者の負担軽減を図るための費用として9億2,000万円余りの補正予算などを審議しました。

約392億円の、物価高騰対策を含む経済対策の補正予算については、共産会派による反対討論の後、自由民主党・県民会議から遠藤隼人議員(泉選挙区)が賛成討論。共産会派を除く賛成多数で可決されました。

議員提案の意見書では、「**地方消費者行政の拡充・強化を図るための措置を求める意見書**」を全会一致で可決しました。

宮城県議会 総務企画委員会委員長

県民所得向上対策調査特別委員会委員

議会運営委員会委員

11月議会は人事議会となっており、この議会から渡辺勝幸は、総務企画委員会の委員長に就任しました。また、特別委員会の所属は、県民所得向上対策調査特別委員会となり、議会運営委員会委員を引き続き拝命(委員長職務代行者)し、県議会定例会本会議の運営等に携わりました。その他の議会活動としては、がん対策推進に係る条例検討会における活動に引き続き取り組みました。

総務企画委員会

11/21 委員長に渡辺勝幸、副委員長に伏谷修一議員(多賀城・七ヶ浜選挙区)を選出。

12/ 9 各部局事業概要等。刑法等一部改正法律等施行に伴う関係条例の整理条例、職員給与一部改正条例、特別職の職員給与等一部改正条例、当せん金付き証票の発売限度額について、産業廃棄物一部改正条例等、宮城県飲酒運転根絶条例一部改正の議案審査の後、採決。

報告事項9件、県職員宿舍整備計画、宿泊税の導入に向けた取組状況、「宮城県新型インフルエンザ等対策行動計画(改定)」の中間案、令和6年度宮城県国民保護共同図上訓練、宮城県地域防災計画の修正、女川原子力発電所2号機の再稼働、宮城県国土強靱化地域計画(第3期)の策定、日本創生に向けた人口戦略フォーラムinみやぎの開催、自治体向けビジネスチャットを活用した県と市町村の新たな連携体制構築。

県民所得向上対策調査特別委員会

12/11 伏谷修一委員長、平岡静香副委員長(富谷・黒川選挙区)を選出。

宮城県議会 第394回(令和6年11月)定例会 (抜粋要約) 予算特別委員会総括質疑

ここでは渡辺勝幸の質疑内容の要約をご紹介します。
議事録をご希望の方は、渡辺勝幸事務所までご連絡ください。

質問の詳細な内容については、
宮城県議会のホームページ等でも公開され、
動画でも見る您可以通过。



12月10日自由民主党・県民会議を代表して予算特別委員会総括質疑に立ちました！

質問 1 令和6年度12月補正予算編成の考え方について

1 振り返ると、9月の自民党総裁選、10月の衆議院解散総選挙と政治日程が続き、自民党にとっては大変厳しい選挙。この選挙により衆議院では過半数をとる政党がない、ハングパーラメント、宙吊り議会となり、石破内閣にとっても、我が国にとっても不安定な政治状況とならざるを得ない選挙結果だった。政治とカネの問題が大きなテーマであったが、その前提となる県民、国民の不安には、物価高に対する政府の対策が全く見えなかったこと、ここに一番の大きな問題があったのではないかと私は感じている。物価高騰対策を何とかしてほしいとの県民の声は大変大きく、これを言うとまた政府批判にとられてしまうかもしれないが、この経済対策はむしろ、遅れたのではないかと私はそのような認識を持っている。令和6年度12月補正予算編成の考え方について伺う。

2 予算総額のうち、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等の国からの財政支援はいくらか。

3 ここ一年の消費者物価指数CPI、数値を見ると、ほぼ毎月前年比2.5%を超えている。今年の9月は2.5、8月3.0、7月2.8、6月2.8、5月2.8、4月2.5という数字。そして総務省統計局の調査によると、この消費者物価指数CPIの総合指数は、令和2年を基準点で100とすると、最新の数字令和6年10月現在で109.5となっており、端的に言うと、4年前から物価は一割増となっているという状況。こここのところ多くの県民の皆様から寄せられる声は、物価が上がって生活が厳しいとの声、また、中小企業の経営者の方々からは、原材料高、資材高で経営が厳しいとの声が聞こえている。物価上昇にあっては、機動的な財政出動が重要であり、県民生活は直接的に厳しい打撃を受けているという強い認識を持つ必要があると思うが、国の経済対策への所感はどうか。

4 政府の令和六年度補正予算は、税収は3.8兆円の上振れと異例の数字、また歳出入規模は13.9兆円だが、歳入側は税収上振れや税外収入などが充てられ、新規国債発行は6.7兆円と、半分程度に抑えられている。これを見ると、県税収入も上向きになってくると思われるが、これもまた私たちの頭にしみついた、「デフレ脳」からすると、一見喜ばしいことのように見える。しかし残念ながらインフレを加味すると、税収増は当然のことであり、あらゆる予算措置は、官民間問わず、行政も、会社も、インフレ分を加味して予算を調製していかなければならない時代に入っているということを強く認識しなければならない。あらゆる予算措置にインフレ分を上乗せして、計上して初めて県民生活が安定していく。個別施策の検討時から、機動的な財政出動に留意しなければ、生活者や経営者の視点から乖離してしまうと思うが、県政運営におけるインフレ時代の予算措置についてどうか。

5 県民、国民の物価高への政策対応がほとんどなかったことに対する強い声、この自民党総裁選の後の衆議院選挙、結果として出ている政治への不満になっているように思っている。そこはどこに行き着いたかという、やはり「103万円の壁」なのではないか。家計簿を見ながらあらゆる物価が上がっていく中で、家計のどこを削るか頭を悩ませている御家庭では、103万円の壁についての関心は強いものがあり、人手不足に悩む経営者の方々から、能力のある方がパートの方で更に働いてくださるならば、これはありがたいという声も聞こえてきている。ほかにも開業医の先生からも、認定農業者の方からも、103万円の壁を突破してほしいという意見をいただいている。問題は103万円の壁を178万円に引き上げたときに生じる7兆から8兆円の財源をどうするかということ。これは我が国の防衛費に匹敵する規模であり、確かに財源の議論なくして進められない。できる限りこの手取りを増やすという政策は、県政においても実現していくべきだが、対案としての財源をどうするかという議論も必要。昔あった埋蔵金の議論と同じ状況になってはいけない。103万円の壁の議論に当たっては、できる限り手取りを増やすことの実現と、減収となる財源をどうするかを議論しなければならないと思うが、見解はどうか。

質問 2 私立学校原油価格高騰対策費について

1 事業概要についてどうか。

2 昨年の定例会において、施設の基本額に人数に応じた配分といった提案に対し、検討する旨の答弁があったが、どのような検討を行ったのか。また、例年通りとなったのは何故か。

質問 3 社会福祉施設等物価高騰対策費について

1 介護報酬など公定価格で経営している社会福祉施設においては、毎月の物価上昇に数年置きの報酬改定が追いつかないことから、安定的な介護体制を維持するためには、年度当初の本予算だけではなく、補正予算による物価高騰対策支援は、死活問題。介護報酬改定はプラスとなったが、介護業界においては、民間との賃金格差は約7万円、民間の賃上げも進んでおり、格差が出てきているとのこと。老人福祉施設等原油価格・物価高騰対策費の概要についてどうか。

2 全国社会福祉法人経営者協議会が今年9月に調査をしているが、令和6年と令和3年を比較すると、一施設当たり、電気代は1.6倍、ガス代は1.5倍、食料委託費は1.5倍となっており、年額で一年当たり負担増を見ると、一施設当たり大体1,900万になっているというかなり厳しい状況。物価高騰で厳しい状況にあるという悲痛な声もあり、医療機関同様、価格転嫁が難しい社会福祉施設には、更に継続的な支援が必要と考えるがどうか。



質問 4 園芸農業原油価格高騰対策費について

1 宮城県が目指している園芸産出額倍増という目標を実現するためには、物価高騰により経営が厳しくなっている園芸農家への支援は非常に重要。園芸農業原油価格高騰対策費の概要についてどうか。

2 園芸作物物流通経費緊急支援費の出荷資材購入費の補助対象経費は、今年度と令和3年度との差額とのことだが、令和4年度以降に就農した場合はどうなるのか。

3 園芸産出額倍増という目標に向けて、物価高騰を乗り越えたその先まで見据えて、更なる政策支援が必要。イチゴ園芸農家の方によれば、近年夏の高温が激しく、今年は更に高湿度のため苗の糸状菌系の病気が増え、定植苗が不足しており、今年は全国的にイチゴの出荷量は少ないのではないかというお話があった。今後は宮城県でも、農業用ヒートポンプの導入を本格化させないと、いよいよ厳しくなってきているとのこと。我が県の園芸産出額倍増という目標に向け、電気料金、重油等燃料の購入費用の支援はありがたいが、省エネでコスト削減が可能となる農業用ヒートポンプ導入への支援が中長期的には必要と思うがどうか。

質問 5 土地改良区原油価格高騰対策費について

1 土地改良区による農業の基盤整備事業は、私たちが毎日おいしい御飯を食べるための縁の下の力持ちのような存在であり、都市部に住む住民にとっても、市街地の水害リスクを低減する効果もある重要な事業。しかしながら、土地改良区の課題は年々難しくなっており、賦課金はじめ財政の課題がある。電気料金の物価高騰が土地改良区の経営自体に更なる打撃を与えている状況となっているが、土地改良区の原油価格高騰対策費についてその事業概要を伺う。

2 農業農村整備事業における建設資材高騰について、見解はどうか。

質問 6 防災重点ため池緊急対策費について

1 早急に整備を要する防災重点農業用ため池等に関する整備や調査を目的とするこの事業についてその概要を伺う。

2 本事業のため池整備地区に仙台市の愛子地区が指定されている。愛子地区のため池が決壊した場合には甚大な被害が想定されるが、今回の事業内容と今後のスケジュールはどうか。

質問 7 新・災害に強い川づくり緊急対策費について

1 新・災害に強い川づくり緊急対策費の事業概要を伺う。

2 元日の令和6年能登半島地震、そして9月下旬の令和6年9月能登半島豪雨と被災した石川県に、先日、泥出しなどの災害ボランティアに伺った。また、発災直後から宮城県として重点的に支援をしてきた能登町を訪問しまして、能登町長、議長、教育長と意見交換をするとともに、能登町に応援で出向している宮城県庁の職員の方、また東松島市の職員の方から、現場での話も聞くことができた。奥能登地域の復興はまだまだ途上。災害はいつやってくるかわからない。事前の備えとして、河川改修、排水機場整備など、防災減災、国土強靱化は重要。国土強靱化について、内陸部の遅れの指摘があるが、今後の防災・減災の観点での見解はどうか。

質問 8 中小企業等再起支援費について

1 令和2年度以降継続して実施してきた本事業について、これまでの事業実施内容、推移と評価はどうか。

2 コロナ禍からの脱却また物価高騰を乗り越えるためには、ゼロゼロ融資や支援事業も利用して、販路開拓をしっかりと行っていただくことは大事だが、重要なのは、価格転嫁をスムーズにどう進められるのかということにある。企業経営者の方とお話をすると、特に規模が小さい事業者の方ほど、価格転嫁というけれどどう簡単にはいかないよという声が聞こえてくる。中小企業及び小規模企業の価格転嫁対策についてどうか。

質問 9 地域ポイント等導入支援費について

1 みやぎ防災アプリの現状の登録者数と今後の段階的な目標についてどうか。

2 抽選でポイント付与されること自体が知られていないと思うが、広報や周知体制の現状についてどうか。

質問 10 交通事業者等支援費について

1 交通事業者等支援費の事業概要について伺う。

2 一日でも早く交付すべきと思うが、想定スケジュールはどうか。